

令和8年度も、9名の文書館ボランティアのみなさんが毎週月・水曜日に活動しています。一昨年から取り組んできた有田家文書の整理（仮目録作成）も、ゴールが見えてきました。3月からは、賀茂郡吉川村の竹内家文書の未整理の書簡類などの仮目録作成も開始しています。

5月27日には、兵庫県の加古川市から、「稲岡工業株式会社文書」保存会のみなさんが文書館に来館され、文書館ボランティアのみなさんと交流しました。今回は、その様子をお伝えします。

「稲岡工業株式会社文書保存会」のみなさん来館



来館された保存会のみなさん



文書館ボランティアのみなさん



自己紹介では、ボランティア参加のきっかけや、今取り組んでいることなど、それぞれの思いを語っていただきました。

稲岡工業株式会社文書保存会のご紹介

「稲岡工業株式会社文書」は、平成24年（2012）に幕を閉じた兵庫県加古川市のタオルメーカー稲岡工業株式会社に残されていた木綿問屋の経営や、明治24年に創業したタオル製造業に関する数万点の貴重な史料群です。この稲岡工業の文書を保存・活用するため、平成26年（2014）年、地元の方々を中心に「稲岡工業株式会社文書」保存会が設立されました。

現在、会員は95名、うちボランティアは21名で、月2回（第1・第3日曜）、活発に活動されています。当館の西向主任研究員はじめ、近現代経済史の先生方による文書の研究も進んでいます。

保存会では、講演会、現地見学、整理した文書の展示、トークセッションなど、趣向を凝らしたイベントを開催し、市民とともに綿を育てる「綿まつり」の活動も展開されています。毎年発行される「わたの里通信誌」には、保存会の活動や研究の成果、会員の皆さんの思いなどが紹介されています。

展示の見学



ボランティアのみなさんの交流タイム

保存会のみなさんに、文書館ボランティアの古文書整理の作業を見学していただきました。



中性紙の保存帙に注目が集まります。



地元加古川のケーブルテレビの方も参加されていました。



ボランティア同士、話が弾みます！



こちらは目録のパソコン入力作業です。



古文書整理についての質問も…。みなさん、興味津々です！

これは古文書が入っていた筆筒



書庫の見学

西向主任研究員の案内で古文書庫を見学する保存会のみなさん



櫃食（和書を収納する木箱）です。



古い襖には下張り文書が…。